

■平成 25 年度 広報・広聴特別委員会活動報告

1. 今年度の活動経過

本委員会は平成 23 年 5 月に設置され、開かれた議会の実現に必要な広報・広聴機能の調査・研究に積極的に取り組んでいる。

今年度は下表のとおり、委員会開催の他、議会活動報告会の開催に関する協議や、先進的な事例を視察するとともに、広報・広聴に関する協議や具現化を行った。

	開催月日	調 査 内 容
1	H25.6.3	* 議会だよりに関する意見出し
2	H25.6.19	* 議会活動報告会の協議 * 活動方針の協議
3	H25.7.12	* 議会活動報告会の協議 * 今年度行政視察の協議
4	H25.8.19	* 議会活動報告会の反省 * 議会だよりに関する意見出し * 活動方針の協議
5	H25. 9.3	* 議会だよりに関する意見出し
6	H25.9.19	* 議会だよりに関する協議 * ホームページに関する協議 * 議会だよりに関する協議
7	H25.10.18	* 議会活動報告会の反省
※	H25.11.18 ~11.20	* 行政視察（佐賀県鹿島市、福岡県宗像市）
8	H25.12.19	* 行政視察を踏まえた意見出し * インターネット中継に関する協議
9	H26. 2.25	* 議会だよりに関する意見出し * 議会活動報告会の反省 * 今年度の活動報告に関する協議
10	H26. 3.17	* 今年度の活動報告の総括

※その他、議会だよりに関する編集作業を適宜開催

2. 先進地調査について

本委員会では、昨年 11 月に佐賀県鹿島市と福岡県宗像市において、広報・広聴に関する議会の取り組み状況を調査した。

●佐賀県鹿島市

(1) 議会インターネット中継

①概要

導入に関する初期費用は WEB カメラ代の 9,500 円

中継の方法は、雑音が入らないように閉鎖された空間(部屋)で執行部の職員が 1 名でケーブルテレビの画面をそのままライブ映像で放映

②効果

生・録画中継に対応しており、視聴件数は年間あたり約 6,200 件

効果としては、市民への PR になるのはもちろん、議会だよりの原稿作成や、積極的かつ責任ある質疑につながっている。

(2) 議会活動報告会

平成 22 年より議会活動報告会を年 1 回行っている。年度当初に開催日を設定し、当初予算の内容や大きな話題になった議案を取り上げ、紙資料ベースで報告を行っている。

① 16 名の議員を 3 チームに分け、それぞれのチームに「地元・農業・漁業」と得意分野の議員を配置する。

② 広報は、マスコミ・市報・ケーブルテレビ・地区の回覧等で行う。

③ 行政側の部課長も出席している。

④ 目的は、意見を聞くことである。

⑤ 2 部構成とし、2 部には大学の先生の講演会などを開いている。

(3) その他の取り組み

①議会だより

25 年度から予算増を図り、カラーを盛り込んだり、賛否の一覧や討論の内容を掲載するなどの充実を図っている。

②一般質問での映像利用

平成 25 年 3 月議会から一般質問時の映像利用を試行中である。市道の破損箇所などを画面に写し、視覚に訴える内容の質問時に活用されるが、会議記録との兼ね合いが課題である。

●福岡県宗像市

(1) 議会インターネット中継

①概要

平成 13 年「宗像市地域イントラネット基盤整備事業」により市内公共施設等への光ファイバー網が整備されたことにより、議会中継システムを導入。本会議の映像を配信し、市内公共施設等のテレビでライブ、録画映像の視聴が可能となる。同時にインターネットを利用したライブ、録画映像の配信も開始した。

i)本会議中継

導入費用 1,570万円

運用経費 初年度 運営支援業務委託料25万円

2年目 運営支援業務委託料、保守点検 110万円

ii)委員会中継

平成21年に老朽化した議場の映像配信設備の改修工事にあわせ、議会委員会室の映像配信システムを構築。委員会の映像の配信が可能になる。

導入費用 2,750万円

運用経費 システムの維持管理 中継支援業務等で約210万円

中継施設 各コミセン 市役所等 15か所

(2) 議会活動報告会

平成21年より議会活動報告会を年1～2回行っている。開催当初は当初予算、決算時期に合わせ年2回行っていたが、参加者の減少に伴い、試行錯誤している。平成25年度は年1回3会場で行ったが、今後は団体等からの要請で行うなど検討を行っている。

- ①市民の前に出向いて、不特定多数の市民から情報収集するのを目的とする。
- ②意見交換の時間を多めに設定する。
- ③議員自ら腕章を付け、駅前やショッピングセンターでチラシを配る。
金融機関にチラシポスターを掲載したり、地域の広報紙に掲載する。
- ④報告書を作成し市長、行政に配布する。

(3) 議会だより

以前は、A4版10～12Pの議会だよりだったものを平成18年からフルカラー、執行部発行の広報紙に合わせ、4ページのタブロイド版(新聞紙形式)で発行している。タブロイド版のメリットとしては、①以前の議会だよりに比べ情報量が2倍、②全ページカラーにしても印刷コスト削減できる、③ページのレイアウトが自由にできるということである。

3. 今年度の重点調査事項について

本委員会では、平成25年4月1日に施行した延岡市議会基本条例に基づき、開かれた議会を目指して議会の広報・広聴機能をより強化するための手法を検討してきた。今年度は議会活動報告会の開催や議会だよりの一部見直し、また、インターネット中継について調査、協議を重ねてきた。

(1) 議会活動報告会

① 取り組みの概要

延岡市議会基本条例第5条及び第6条に基づき、年4回の定例会毎に議会活動報告会を市内11地区、年間12回実施することとしている。

② 開催場所・参加者数(人)

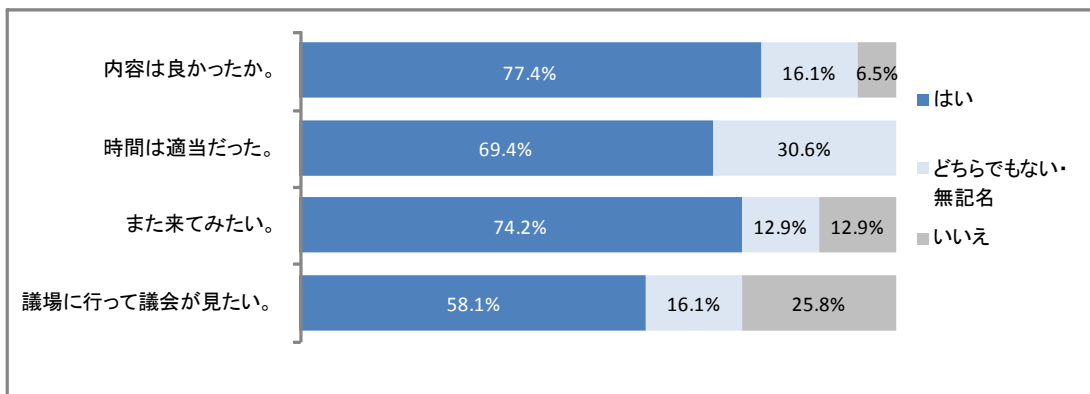
開催	地区	日程	会場	参加者数
第1回	川中地区	7月29日	川中コミュニティセンター	30
	岡富地区	7月30日	岡富コミュニティセンター	60
	東海地区	7月31日	東海コミュニティセンター	120
第2回	北方地区	10月2日	北方コミュニティセンター	40
	北川地区	10月7日	北川町ホテルの宿	20
	南浦地区	10月7日	須美江家族旅行村ビーチの森管理棟	25
第3回	恒富地区	2月4日	恒富南コミュニティセンター(緑ヶ丘)	50
	北浦地区	2月5日	北浦公民館	20
	南方地区	2月6日	南方東コミュニティセンター(西階町)	90
第4回	伊形地区(4月予定)	-	-	-
	島浦地区(4月予定)	-	-	-
	岡富地区(4月予定)	-	-	-

計455

③ アンケート・意見の結果(抜粋)

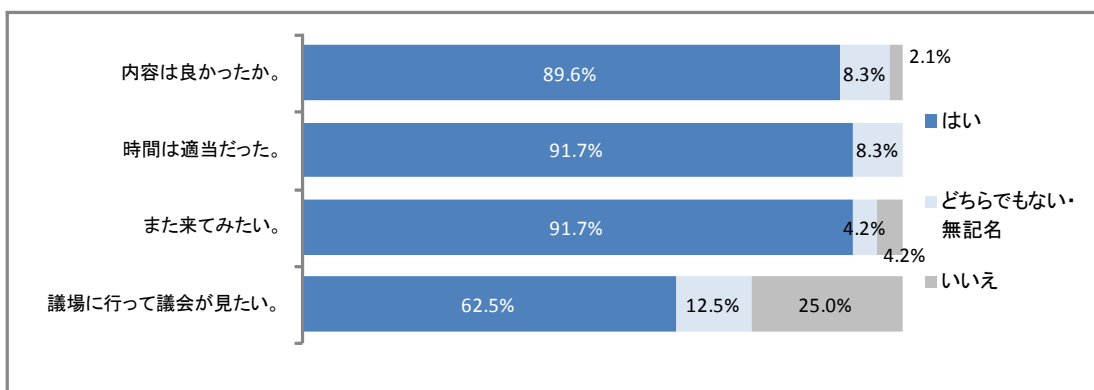
第1回 議会活動報告会アンケート結果

6月定例会後



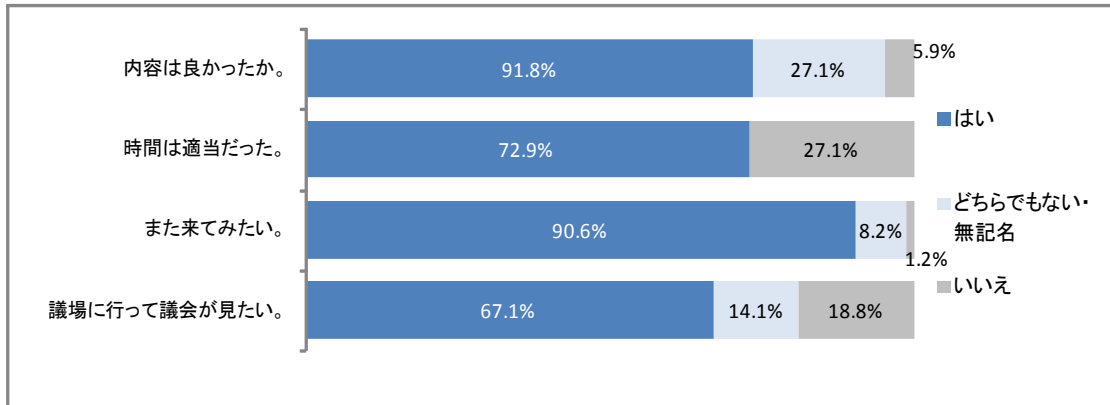
第2回 議会活動報告会アンケート結果

9月定例会後



第3回 議会活動報告会アンケート結果

12月定例会後



周知	第1回	<ul style="list-style-type: none"> もう少し早く回覧板でまわすくらいの配慮が欲しかった。 今回の報告会を各地区の役員会、総会他で知らせることも必要だと思う。
	第2回	特になし
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> 出席者が少ないのが残念。 できるだけ多くの方に参加していただけるよう、対策を検討して欲しい。
報告会への意見 (良い意見)	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 懸案事項が提案され、その内容と今後の方向性がわかってよい。 活動内容がよく見えて、このような場を設けていく必要があると思う。 内容が非常に深く、複雑な議案調査項目に懸命に取り組んでおられる様子がよくわかった。 今後も情報意見交換の場を、計画実施して欲しい。 常任委員会の25年度調査項目の結果に期待している。 これからも市民のために向上心を持って活動して欲しい。 出席された方からの色々な意見を聞かせてもらい参考になりました。納得できる内容が多かった、実に市民目線で良い意見が出されて感心した。 延岡市広報といっしょに「市議会だより」も各戸に配布され、どんな質疑応答がされたか、どんな審議がされたか、よく読んでいる。また、ケーブルテレビで議会状況を見たり、議場に行かなくても雰囲気も十分味わえるようになってきた。
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> 委員会ごとにわかりやすい説明であった。 意見交換を交えた方法で良かった。 今まで、議員の活動が見えにくかったのではないかと。今回のこのような議会報告会等で、住民の見方も変化すると思う。是非頑張ってもらいたい。 分かりやすいように平易な言葉を使うと良いのではと思う。 一般質問については、テレビを通して市民が見ている。市民に対して話しているという意識を持って質問したらいいと思う。

	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・各議員がそれぞれの分野で一生懸命勉強され、いろいろな問題に取り組んでいるのがよく分かった。 ・回数を増やして市民の声を聞いて欲しい。 ・日頃頑張っているのがよく分かった。 ・大変良かった。今後も継続して欲しい。年1程度上南方地区でも開催して欲しい。議員数は4～5名でもいい。 ・回数を増やして欲しい。
<p>報告会 への意見 (改善点)</p>	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が少ないので、次回からもっと詳しいものが欲しい。 ・各委員会の報告は、少なくともレジメを配布して説明して欲しい、区に持ち帰ってのPRの責任があり、説明資料を作成しにくい。 ・市民のためにしっかりお願いします。 ・報告ではなくて、市民が何を知りたいのか、市民に何を知らせるべきか、より良い延岡にするための視点を考えて欲しい。 ・十分理解できなかったが、今後回数を重ねて、双方力を合わせて有意義なものにしましょう。 ・もう少し時間をとって説明して欲しかった。 ・参加者に若い人たちが少ない。若い人たちの意見を聞く場をもっと広げて欲しい。 ・市民への説明の中では、分かり易い言葉に直して言い表すといい。 ・もっと噛み砕いて自分の話し方で報告して欲しかった。 ・多くの人から意見を聞いて欲しい。 ・もう少し一般的な言葉で説明してもらおうと高齢者も分かり易いと思った。
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関する事項について報告して欲しい。
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・質問する人の時間が長い。 ・質問の時間を長くともってほしい。 ・遠方だけでなく、近くの視察の話もして欲しい。 ・短時間で総括的な説明でよく理解できなかった。1つの事例をもっと具体的に突っ込んで説明して欲しかった。 ・地区にしぼっての説明もして欲しい。 ・早口の説明で分かりづらい。 ・他の話題が中心になり、地域内の質問をできなかった。
<p>市政 について</p>	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道整備の対応が遅いのでは。 ・治山治水の重要性を昨年今年の集中豪雨で感じている。林業の活性化再生という事のみで行政は動いている、抜本的対策が求められる。 ・地震対策について（津波も）あらゆる角度から検討すべきでは。 ・地震津波の事が心配、避難場所や避難路の具体化の推進を望む。 ・「鳥獣被害対策」をもっと重視拡大すべき。この被害は、山間部農業衰退の大きな原因の一つと考える。「鳥獣被害」を削減して欲しい。 ・県外からの人たちが足をとどめてくれるような観光は、今後とも重要な“発展の要素”の一つになると思う。 ・北浦道の駅の「塩」は、品質味共に抜群のもの。もっと県外へのPRを。

	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・北方町が合併後に、ここが良くなったというところが見えてこない。 ・鳥獣被害対策について、電柵等への補助決定は早め（前倒し）にお願いしたい。少なくとも7月～8月頃には設置できるようにお願いします。農家はどれだけ収穫があるかより、いかに鳥獣害にやられないかが一番の悩みである。 ・高速道ができるのは良いが、通過点にならないように「よっちみろ屋」「ETOランド」「荒平公園」の再開発等に早めに取り組めないか。
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・市内排水溝の臭いが近頃特にひどくなっています。対策をお願いします。 ・旧わかあゆ支援学校を、スポーツクラブや陸上の練習など子供たちへ開放して欲しい。 ・時間がかかってもいいが、循環バスの団地入れを実現して欲しい。団地では高齢者が40%もあり、5～10年先には買い物に行けない状況になる。対策を。
議会・議員 について	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・議員任せではなく、もっと市民一人一人が関わって欲しいと思う。 ・一般質問に対する市の答弁がマンネリ化している、言い方をかえると馴れ合いとも思われる、質問する側ももっと鋭い切り口でお願いします。 ・延岡市をいかに向上活性化していくのか、それがなければ市議会の存在意義はない。 ・市議会議員の報酬がまだ多いと思うし、議員定数も削減すべき。 ・議員の削減絶対行って欲しい。 ・議員報酬などについて、もう少し幅を広げて市民の声と議員の立場を近づけて欲しいと思う。
	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・区長連協の議員報酬・定数に関する要求は、少なくとも私の区では話が出たことはない。 ・むやみやたらに議員定数や報酬を減らすのはどうかと思う。
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・市長選挙における議員の選挙活動における指摘があったが、指摘のとおり、議員が特定候補への肩入れする活動は妥当とは思えない。 ・女性の意見どこに取り入れていただいているのか。議員の中に女性が少ない事も原因の1つと思う。 ・視察は毎年必要なのか。結果をどのように活かしたかを知りたい。 ・参考になった事をできる限り取り入れていただきたいと思う。
議会広報 について	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイワイでの放送については、事前のPRをしっかりして欲しい。 ・議会だよりはちゃんと見ているが要旨だけになりがちであった。FMのべおかでは生中継のため分かり易い。ラジオの生中継は非常にいいことだと思う。 ・議会だよりは一新して読み易くなったが、文字はあまり読まない、絵をたくさん活用してもらいたい。 ・議会だよりも改善されてきており、大変楽しみ。 ・議会だよりはあまり立派過ぎても税金の無駄遣い、歯止めを。
	第2回	特になし

第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例の改正があったときは、何故か、どうなったかも知らせて欲しい。 また、例えば指定管理者が決まったら誰に決まったのか等々、決まった、決めた、変わっただけでなく、どうなったかも併せて知らせて欲しい。 ・ 読みやすい議会だよりにして欲しい。 ・ 今後、興味を持って読ませてもらう。 ・ テレビ放送の質問応答を見て思うことは、活気が薄いように思える。力強い質問をして欲しい。
-----	--

(2)議会だより

本委員会では特別委員会を設置後、読みやすい議会だよりを目指して、調査研究を重ねてきた。

●平成25年度の変更点

①一般質問の質問項目の一部と顔写真の掲載



▲議会だより第56号から抜粋

これまで、不明瞭であった「誰が何を言っているのか」を見えるような形に、また、議員の意識向上が図られ、ひいては議会全体の活性化につながることを目的として平成25年8月1日発行の第56号から顔写真と質問項目の一部を掲載し始めた。

②委員会審査の掲載

これまで議案審査結果の一覧を掲載していた議案関係の情報について審査の経過を掲載することにより、審議結果だけでなくどのような審査が行われているかを「見える化」するように努めている。

(3)議会放映の充実

本市議会で行っている本会議のケーブル放送やFM放送に関しては、中継面をカバーしているところであるが、昼の時間帯に仕事などで中継を視聴することができない方のために録画放送の検討を行っているところである。

インターネット中継の導入には2つの手段が考えられる。1つ目は初期費用を投資し、システムを構築する方法である。2つ目は動画配信サービスを利用する方法である。本特別委員会としては、既にケーブルやFM放送による中継を行っていることから、本市議会を導入する際は、コスト面に配慮した方法で録画配信を行うことが良いのではないかと考えているところである。

4. 1年間の活動をふりかえって

(1) 議会活動報告会

議会活動報告会については、これまで毎定例会後市内3地区ごとに9会場で行ってきたところであるが、市民アンケート結果では概ね好評な結果をいただいているところである。市民に直接的に議会活動を報告でき、また、市民から直接意見を聴くことができる貴重な広報広聴の場であることから、議会基本条例に基づき、見直しをしながら引き続き取り組んでいかなければならないと考えている。

(2) 議会だより

協議を続けてきた議会だよりについては、一般質問について、誰が何を聞いたかを市民に分かりやすくなるよう顔写真と質問項目の一部を一覧掲載するように変更した。

また、議員間討議を行った常任委員会審査や補正予算・決算審査の内容など、新たな取組みやこれまで大きく取り上げられてこなかった内容など盛り込むことに努めた。

なお、レイアウト等の面では引き続き2色刷りで発行し、表紙全体に写真を配置したり、中身についても議会の堅いイメージを少しでもわかりやすく、柔らかい印象にするよう努めている。

今後、年間を通じた掲載内容の協議や、文字数を減らして画像などを増したり、ページ数を増やしたりしてさらに読みたくなる議会だよりになるよう、努めていく必要があると考える。

また、外部研修会に参加するなど、編集能力の向上を図り、一般質問以外の部分についても、議員主体での議会だより作成に着手する方策を検討する必要があると考えている。

(3) 今後の方向性

その他、本委員会としては、来年度以降、インターネット放送の実現や、ホームページの充実、フェイスブックなどのSNSの活用などについても調査を行い、引き続き、広報・広聴活動の充実に努めていかなければならないと考えているところである。